

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	岡山港管理事務所		所在地	岡山市中区新築港6-1		
敷地面積	98,528.00 m ²		棟数	4 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	598.20 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	備前県民局建設部の出先事務所(岡山港及び港湾施設の維持管理、港湾区域内の規制、許可、指導等)					
【想定される自然災害】						
予想震度 震度6弱 津波 1.0～2.0未満 浸水 1.0～2.0未満						
建築規制	臨港地区、商港区、準工業地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 ()		
	11,093 kwh	0 m ³	116 m ³	0 ℓ		
管理上の特記事項	敷地内未利用地:なし					

1 施設内建物の概況

名称	事務所	
築年(西暦)	1975年	
構造	鉄筋コンクリート造 1階	
建築面積	207.42 m ²	
延床面積	207.42 m ²	
主要な用途 (室名等)	執務室 39.6m ² 会議室 26.64m ²	
主要な設備 (屋外を含む)	-	
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適
	中性化 ※3	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、施設を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
事務室	設備等の修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 設備機器等
劣化が進んでいる設備等について順次更新を行う。

臨港地区、商港区

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
事務所	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)		屋根、 外壁						照明 設備 LED化		給排水 設備 2026: 設計 2027: 施工・ 監理

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R8.1	給排水設備の更新時期の変更